

意見の概要

利根川・江戸川河川整備計画は、本川のみを対象にしてゐるが、渡良瀬川、鬼怒川、霞ヶ浦、鬼怒川・小貝川、霞ヶ浦、中川・綾瀬川の支流と相互に関係している。全国の河川整備計画は、水系全体の河川計画となっている。利根川・江戸川でも水系全体の河川計画にしていただきたい。治水目標流量の $17000\text{m}^3/\text{秒}$ は、過大であると有識者会議でも疑問が出され、カスリーン台風洪水の実績流量は $15000\text{m}^3/\text{秒}$ 程度であったことが新聞にも報道されている。治水目標流量の議論をきちんと続け、情報もしっかり公開して頂きたい。首都圏の水需要は年々減っており、治水効果も下流に行くほど減退している。利水・治水の必要性がなく、地質が脆弱で、地滑りを誘発する危険性が高いハツ場ダムを計画から削除して頂きたい。環境に配慮し、生物多様性を重視した利根川水系河川整備計画を策定して頂きたい。一連のやりかたを見ていると、ハツ場ダムを作らんがための計画のように思える。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。